

## 天草市民歴史シンポジウム

### 歴史財産の活用方法を学ぶ

9月23日、天草市歴史シンポジウム「史跡棚底城跡と防風石垣を活用したまちづくり」が、倉岳町の倉岳多目的研修集会施設で開かれ、地区住民など約150人が参加しました。講演では、長浜城歴史博物館館長・中井均氏が「城郭の活用と元気なまちづくり」、熊本大学准教授・田中尚人氏が「防風石垣・コグリの保存、活用について」と題して、郷土が誇る歴史財産の活用方法について講演。また、両氏などによるパネルディスカッションも行われました。



▲「地元の人が正しく理解し、愛すべきものにしてほしい」と語る中井氏

## 天草キリシタン館・来館者3万人突破

### 来館3万人目は廣坂さんご家族

7月1日にオープンした天草キリシタン館の来館者が10月17日、3万人を突破しました。この記念すべき3万人目の来館者は、熊本市にお住まいの廣坂夕華さんご家族。この日は、天草に遊びに訪れ、たまたま来館されたとのこと。ご家族には、市から記念品として天草陶磁器や認定書のほか、同館からは1年間の観覧無料券が贈呈されました。夕華さんは、「こんなことになり驚いているが、とてもうれしく思います」と喜びを語っていました。



▲安田市長と御寄館長と一っしょに記念撮影をする廣坂さんご家族

## 空の日フェスタ

### 空のイベントに多くの人出

9月23日、『空の日』フェスタin天草空港2010』が同空港交流広場一帯で開かれました。これは、天草空港「空の日」・「空の旬間」実行委員会が、同20日に制定されている“空の日”にちなんで毎年開催しているもの。催しでは、天草地域の小・中学生による絵画コンクールの表彰・展示のほか、ふだんは入ることができない対空通信室の見学などを実施。また、航空チケットが当たる大抽選会も行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。



▲対空通信室の見学で管制官の説明を熱心に聞く参加者

## 天草市民公開講座

### 子宮頸がんの予防を学ぶ

10月7日、天草市民センターホールで「天草市民公開講座」が開かれ、約400人が参加しました。同講座は、市と市教育委員会が毎年開催しているもの。今回は、健康についての学習の場を市民に提供することを目的に、熊本大学医学部産科婦人科教授の片渕秀隆氏が「10代から考える子宮頸がんの予防：人類史上初のがん予防ワクチン」と題して講演。子宮頸がんの特徴や若い年齢でのワクチン接種の必要性などが話され、来場者は聞き入っていました。



▲「正しい知識と早期予防が大切」と語る片渕氏

## 新和町みんなのスポーツ大会

## 新和

### 雨にも負けずみんなでスポーツ！

10月3日、「第2回新和町みんなのスポーツ大会」が、新和グラウンドを主会場に開催されました。この大会は、町民の交流と親睦を深めることなどを目的に、2年に1回開催されているもの。この日はあいにくの雨のため、予定されていたグラウンドゴルフとグリーンボールソフトは中止になったものの、ミニバレー競技と小学生によるビーチバレーボール競技は実施されました。選手たちは、雨雲を吹き飛ばすような勢いで、熱戦を繰り広げていました。



▲ミニバレーをする子どもたち



▲ホームラン競争のようす

## 職域ナイターソフトボール大会

## 天草

### ソフトボールで地域の交流を深める

9月24日、同28日に、「第32回職域ナイターソフトボール大会」が開催されました。これは、大江地域づくり振興会が、ソフトボールを通じて同地域にある職場や団体どうしの交流を図ることを目的に、毎年開催しているもの。大会では、職場や団体のメンバーなどで編成された6チーム・117人が出場し、優勝を旨として熱戦を繰り広げたほか、各チームの“力自慢”選手によるホームラン競争も実施。参加者は、遠くまで飛ぶ打球を見て歓声をあげていました。

## 「宝の海・夕陽日本一づくり」事業ワークショップ

## 河浦

### 夕陽をいかした地域活性化を目指して

10月7日、富津公民館で「宝の海・夕陽日本一づくり」事業ワークショップ（研究集会）が開かれ、富津地区振興会の役員など16人が参加しました。これは、天草西海岸の夕陽を活用し、滞在型の観光客増加と雇用促進を図ることで、地域を活性化しようと開催されたもの。この日は、熊本県立大学の明石照久教授と澤田道夫准教授を講師に迎え、参加者は班に分かれて崎津地区の夕陽スポットの選定や、整備の必要性などを話し合いました。



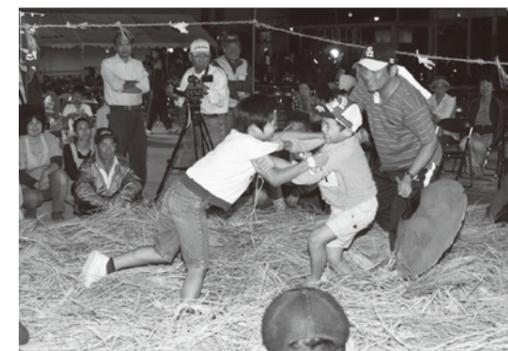
▲夕陽スポットの選定について話し合う参加者

## 赤崎地区三世交流十五夜大会

## 有明

### 十五夜を通じて世代間の交流！

9月25日、赤崎グラウンドで「第5回赤崎地区三世交流十五夜大会」が開かれ、地区住民約350人が参加しました。これは同地区振興会が、伝統行事を次世代へ継承するとともに、住民が一体となって地区を盛り上げようと開催しているもの。天草ありあけ太鼓や琉球國祭り太鼓の披露のほか、親子綱引き大会や兄弟すもうなどを実施。また、今年度解体される旧赤崎小学校校舎のライトアップも行われ、参加者は秋の夜長を楽しく過ごしていました。



▲すもうを楽しむ子どもたち